

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 2月 25日

事業所名:あまーちforゆう

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースと、利用者が、車イスから降りて身体を伸ばせる和室スペースを確保している。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	フロアでの活動スペースについてはバギーや呼吸器・吸引器等配置の工夫をし、個人の持ち物が他の人と区別が出来る様に工夫している。
	2 職員の適切な配置	看護師・保育士・喀痰吸引等の資格を有する職員その他指導員を昨年度より増員して配置できている。	はい 8人 どちらともいえない 2人 いいえ 0人 わからない 2人 看護師不足が、重度の呼吸器24時間装着児の受け入れ困難となる原因では?	現在は常時、看護師対応が必要な重度の利用者が複数の場合は、複数による看護師配置を実施しているが、今後も増員を検討している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	完全バリアフリー化している 広いエレベーターや雨天時の乗降に対応できるスペースを整備し、トイレにもオムツ交換用ベッドを設置している。入浴設備にテイルト・リクライニング式車いすやリフトがある。	はい 10人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 2人	利用者の成長に伴い、今後はリフトを使った移乗等の必要に応じた設備の活用を検討し、その事を家族に伝えていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は専任の職員を配置し、他の職員も清潔に気を付け、感染予防に配慮している。フロア・和室・浴室・脱衣所等活動により、移動し、心地よく過ごせるよう配慮している。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	空調や湿度の面では個別に対応しないといけない場合もあるので一人一人に留意しながら調整していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	中間総括や総括でPDCAサイクルを実施している。また、定期的に行われる各種会議(職員会議、パートも含めた全体職員会議等)の中で目標設定と振り返りを行っている。		引き続き半年ごとに振り返りをしてPDCAサイクルを実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は実施していない。		今後は第三者評価を実施することを検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	あまーちの理念に沿った全職員対象の研修を年に6回行っている。また、定期的に外部研修にも参加している。		引き続き法人での定期的な研修や外部での研修機会の確保、全職員の参加を呼びかけを行っていく。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	新規利用児は必ず見学に来ていただき、アセスメントを実施し、計画を作成している。既存の利用児に対しては懇談会や送迎時等でニーズを聞き取り個別支援計画に反映できるようにしている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	引き続き送迎時や懇談会の中でニーズを聞き取り、支援計画に反映していく。計画書に対しケース検討を通じてチームでの分析もしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	昨年引き続き、主に1日開所はイベント系の集団の様々な経験をする取り組み、放課後はリラクゼーションや入浴を中心とした個別のゆったりとした時間を過ごす取り組み等、それぞれ組み合わせた計画作成をしている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人	成長に伴う子どもの状況の変化に応じて計画が作成できるようにしていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の各種項目(生活支援、発達支援、地域支援、家族支援、身体拘束)において、具体的な支援内容を記載している。	わからない 0人	より具体的に記載できる様に見直しや創意工夫していく。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援の実施をしている。その中で子どもの発達や年齢を考慮するように心がけている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	各種会議の中で支援計画の振り返りを行い、計画に沿った支援を実施できるようにしていく。また、意識付けしていけるように定期的に話し合う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	イベントでの出し物や活動に向けての準備や室内の飾りつけ等、役割分担をすることでそれぞれ職員の得意な事を活かすスタッフ全体でのアイデアを反映している。	はい 10人 どちらともいえない 0人	今後もスタッフ会議の中で議題に上げる等、チーム全体でアイデアを出し合いながら立案していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校帰りという事もあり、リラクゼーションや入浴中心のゆったり過ごしてもらう取り組みを行い、長期休暇、休日は集団での取り組み(生活介護との合同の取り組み)を行っている。	いいえ 0人 わからない 2人	曜日によって集団での取り組みに参加しにくい利用児もいるので、今後取り組み内容を検討していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節ごとのイベント(喫茶イベント、お祭り、おもちつき、クリスマス会等)に参加する中で様々な経験をしている。また、ボランティアによる室内の飾りつけ、読み聞かせ、手遊び等も実施している。	本人の障害程度・利用曜日等により、差が生じているのでは？	イベント以外の時も工夫しながら活動に変化を持たせるようにしていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日案に各児童のケアの内容と担当の名前を記載し送迎前に打合せをし確認を行っている。		引き続き、できるだけ打ち合わせの時間が取れるようにする。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	朝礼と終礼等で支援に対しての職員間の振り返りを行っている。また、スタッフ会議を開催し、情報共有を行っている。		その日のうちに振り返りが出来ない時もあるので、その場合は次の日の打ち合わせの中で振り返りを行う。伝達方法も検討していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	昨年引き続き日案や連絡帳への記録を行っている。また、スタッフ会議の中で支援について話し合いや、ヒヤリハットを活用し検証を行い、改善に繋げている。		連絡帳の記載について、より様子がわかるように記載していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に2回振り返りを行っている。懇談会や送迎を通じ、ご家族との情報交換を行う中で、計画について状況に応じ見直しを行っている。		引き続きモニタリングを行う中で新たなニーズも取り入れながら見直し改善を図っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	開催の案内をいただいた担当者会議には、日頃関わっている職員が参画している。		今後も積極的に参加し、その情報を職員間で共有するとともに、支援に繋げていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校の行事などには積極的に訪問し参観している。また、相談支援専門員と情報を共有している。		今後も学校参観や他事業所見学など、関係機関と連携することで、子どもたちの様子を知り、理解を深めていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	各保護者を通じて、主治医の指示書をいただいております。課題が発生した時は、すぐに連絡が取れるよう緊急連絡先のファイルを作成している。また、嘱託医との連絡体制も整えている。		診察の際には診断の情報をご家族から聞き取り、職員間で共有していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所から引継の児童がないため情報共有は行っていない。		今後新1年生に対しては、それまでの通園施設や学校、相談支援専門員との連携を深め、情報共有していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ、その事例はないが、情報が提供できるよう、支援内容が分かる書類を残している。		学校を卒業される児童が出た時に情報提供できるよう、日々の記録やケース検討会の資料などを残していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今のところ、児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携はないが、他機関の研修は受講している。		研修には積極的に参加していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブや児童館との交流は無いが、地域の小学生とはイベントを通して交流する機会を提供している。	はい 5人 どちらともいえない 4人 いいえ 0人 わからない 3人 本人の障害の程度により、機会があっても、交流の内容に差が生じる。最重度の医ケア児のデイでの活動内容は難しい。	小学生の喫茶イベントはいろんな児童が参加できるようにスタッフを増やす等、どんなに障害が重くても参加できる方法を考える。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の住民が参加出来る夏祭りを他事業所と合同で開催している。また、法人独自でバザーやもちつき等を行っており、その際は地域住民を招待している。		今後も夏祭り・バザー・もちつき大会などの行事の中で、地域住民との交流をはかっていく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については見学の時に説明している。利用者負担等については、契約書・重要事項説明書で説明を行っている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後も引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談会の参加者には計画書に基づいて説明を行った。それ以外の方には計画書を渡して、サインを頂いている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後は計画を示しながら、納得していただける丁寧な説明をする時間を設ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは行っていない。	はい 7人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 4人	医療的ケアは日々変化していく為、ご家族との情報共有を密にしていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳に様子を記載したり、ご家族からの要望を記入してもらうなど連絡帳の活用と、送迎時を利用して情報交換や、電話でのやり取りで共通理解につなげている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後もコミュニケーションをはかり、共通理解につなげていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談は、電話や送迎時に対応している。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後も悩み事を相談できるような体制を継続し適切に対応していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	懇談会は年に1回開催している。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	学校の付き添いで参加が困難な保護者への対応を検討し、出来るだけ多く参加出来るようにする。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決窓口を設置し契約時に説明している。対応についてはマニュアル化している。	はい 8人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 3人	携帯に個別にライン設定をしており、職員と直接連絡し合う事で、迅速な対応を心掛ける。また、苦情対応マニュアルを徹底していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	コミュニケーションのやり取りをする中で、新しいサインや分からない仕種については、その都度ご家族に聞き取りをしている。	はい 11人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 0人	今後も丁寧な声掛けを行い反応を観察しながら意思疎通をはかり、職員間で共有していく。また、様々なツールを利用しながらアプローチし、意思伝達の方法を探っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報は年に4回法人で発行しているが、デイの子供たちが載っている事が少なかった。行事は年間計画表を配布しており、月間の依頼予定表にも記載している。	はい 11人 どちらともいえない 0人 いいえ 1人 わからない 0人	会報にはデイの様子もきちんと伝えていく。行事の年間予定表は引き続き配布する。それ以外にも連絡事項があれば発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	会報・ホームページ等への写真の掲載は肖像権同意書をいただいている。また、個人情報を関係機関に提供する同意書をいただいている。また、職員には守秘義務厳守の契約をしている。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後も取り扱いには十分注意していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル感染症対応マニュアル、防犯マニュアルを策定している。職員に対しては定期的に学習会を実施している。	はい 12人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	今後も各マニュアルについて定期的に見直しをし、研修を実施していく。職員・ご家族への周知に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的にあらゆる災害を想定して避難訓練を実施している。	はい 5人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 6人	避難訓練を実施している事を保護者にもしっかり伝えていく。
	3	虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	事業所内で年に1回、虐待防止研修を実施している。		今後も年に1回虐待防止研修を実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	組織的な決定の基に身体拘束同意書を作成した。ご家族に説明し同意も得て計画書への記載も出来ている。		今後も定期的に見直しをはかり、個別支援計画の中に記載して、ご家族の同意を得る。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在のところは、お弁当や栄養剤を持参してもらっている。今後は給食の実施を検討していく。		今後も、アレルギーのある利用者に対しては、アセスメントや計画作成時に聞き取りをし計画に入れて注意して支援を行う。今後食物アレルギーのある子どもに対してこちらでクッキングや食事提供する場合は医師の指示書に基づいて適切な対応をしていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書の作成を行い、主任、管理者が確認の上、毎月の職員会議で必ず報告し共有を徹底している。		半期ごとの総括の中で検討し、マニュアル化していく。